

## 素鷲地区タウンミーティング(要約)

テーマ：素鷲地区のまちづくりについて

令和2年10月14日（水曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。今日は平日の夜で、何かとお忙しかったのではないかなと思いますけれども、このようにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の開催に際しましては、素鷲地区まちづくり協議会の会長さん、素鷲公民館の館長さんはじめ、役員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。当初、素鷲地区のタウンミーティングは、5月30日に開催の予定でしたけれども、皆さんご存知のように、新型コロナウイルス感染症の影響で延期させていただきました。市民の皆さんや事業者の皆さんが外出や営業活動を控えたり、密閉・密集・密接の3密を回避したり、感染拡大の防止策を一つ一つ積み上げていただいたおかげで、本日このように開催できるようになりました。皆さんのご理解とご協力に感謝申し上げます。さて、松山市のタウンミーティングは、私が市長に就任させていただいた当初から始めています。松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町合わせて41地区に分かれています。市長任期の1期目は地区ごとに開催し、4年間で2巡りさせていただきました。2期目に入らせていただいて、地域別のタウンミーティングに加え、大学生や子育て世代、人生の先輩方に集まっていただく世代別のタウンミーティングや、農業に従事している方や商店街の方々に集まっていただく職業別のタウンミーティングもしています。おかげさまで3期目に入らせていただいていますけれども、これまでタウンミーティングに参加された皆さんから、松山市の取り組みを知ることができて勉強になったという声を多数いただいていますので、意見交換の合間に広報タイムというのを入れて、現地現場で汗を流している職員から、市民生活に役立つ情報を紹介しています。今日のタウンミーティングで通算122回目になります。タウンミーティングで頂いたご意見はできるだけこの場でお答えをして帰りますが、中には国と関係をする案件や愛媛県と関係をする案件、財政的によく考えなければならないものもあろうかと思います。そういったものにいい加減な返事をして帰るわけにはいきませんので、いったん持ち帰らせていただいて1カ月をめぐりに必ずお返事をする、やっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないというのが、松山市のタウンミーティングの特徴です。今日はこれからの素鷲地区のまちづくりについて有意義な意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

【男性】 二番町・三番町のカラスは、鷹匠が追い払ったのでいないと思うんですが、石手川から南はすごいです。私は、キュウリやなす、柿、イチジクを食われ、何にも食べるものがないんです。集団で朝5時にカーカー言っています。動物愛護団体がいたら怒るでしょうけれど、カラスを追い払うのではなく、捕まえて数を減らす方法はないで

しょうか。どの町内もごみにネットをしているんですけれども、ネットから引っ張り出して道路はわやです。気がついたら、ちりとりとトングとほうきを持ってごみを集めているんですけれども、カラスにはやられます。カラスの対策は、追い払ってもどこか違うところが被害に遭うと思うので、できたら何とか、考えていただけたらと思います。

【市長】 今日、担当の環境モデル推進課が来ていたらよかったですけれども、私の記憶の中でお話をさせていただきます。まず、ごみの清掃にご協力いただき、ありがとうございます。皆さんもテレビのニュースでご覧になったことがあるかもしれません。松山は、特に中心部でカラスの被害が大きいです。やはり、ゴミをつつくんです。中心部は観光客の方とか、ホテルに泊まる方が多いですけれども、カラスがつついて汚すもんですから、何とか方法がないのか考えていました。一つの方法として、鷹匠がタカを飛び立たせて追い払うことをモデル的にやっています。実際、タカを使ってやると効果はあります。カラスは、城山をねぐらにしているものと、各地に住んでいるものがあると記憶しています。中心部で追い払ったから、周りのところに移っていつているわけではないという専門家の報告も受けています。今、考えているのが、カラスがタカに追われるときに警戒をする声を収録して、皆さんが各地で流せるようにしたらどうだろうかということを考えています。中心街のお店から出るごみは、一般ごみではなくて事業者ごみになりますけれども、事業所ごみの回収も大分、朝早くなってきました。我々がさせていただいているカラスの鷹匠での追い払いで、みんなで力を合わせて被害を抑えていこうという雰囲気が出ているのかなと思っています。また、電線にカラスが止まれないように、とげとげにしてカラスが止まれないようにしたりしている電線もあります。NTTと松山市で協力しながら、設置しているところもあります。今日、ネットをしてもつつくという貴重なご意見をいただきましたので、どういうことができるのか、担当の環境モデル推進課で検討させていただきたいと思っています。できれば、皆さんの地区でも、カラスの嫌がる声を流すということができればと思っていますし、さまざま検討をしていきたいと思っています。

【女性】 素鷲校区の約6,000人の高齢者の願いを代表しまして、市長さんにどうしてもお願いをしたいことがあります。先日、会長会で確認しました文書があるんですけど、私たちの素鷲校区は所得の低い高齢者が大変多い校区です。独居高齢者の数も雄郡に次いで2番目に多い現状です。介護保険制度ができてから20年近くになり、介護施設も校区内にたくさん増えましたけれども、入所するにはかなりの金額が必要です。一般的には13万円から15万円といわれています。ところが今、国民年金の平均は6万円ぐらいなので、年を取って、体が不自由になり、自分では生活できなくなったときにどうしたらいいのかという不安を感じている高齢者がたくさんいます。そこで、高齢になっても、住み慣れたまちで安心して暮らしていきたいという私たちの願いを実現するために、ぜひとも素鷲校区に所得に応じて安い費用で入所できる特別養護老人ホーム

をつくらせていただきたいということを切にお願いする次第です。この問題は、前回のタウンミーティングでもお願いして、素鷲校区は福祉が大事だということが分かったと、検討しますという回答をいただいていますけれど、なかなか大変なんですね。でも、お金がないとか土地がないとかは言わないでほしいです。松山市内にもたくさん特別養護老人ホームがありますけれど、素鷲校区には民間も含めて1カ所もありません。すぐにはできなくても、ぜひよろしくをお願いします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課長の石橋と申します。前回もご質問を頂き、その後、私どもでもさまざま検討をさせていただきました。まず、現状を説明させていただきます。現在は平成30年度から今年度までの3カ年の計画、第7期松山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づいて、民間事業者の力をお借りしながら市内の施設整備を進めています。この第7期の計画では、素鷲地区に特別養護老人ホームを建設したいという事業者の応募がありませんでしたので、今のところ素鷲地区への建設の予定はない状況です。現在、市内に特別養護老人ホームが47施設ありますけれども、最寄りの石井東地区に2カ所、雄郡地区にも2カ所ありますので、当面はその最寄りの特別養護老人ホームへの入居申し込みということでご理解いただけたらと思います。今後についてですけれども、新たに施設を建設するとなると、例えば定員30人未満の小規模の特別養護老人ホームでも、これまでの状況からすると、約2,000平方メートル以上の敷地、この素鷲公民館の敷地よりも広い土地が必要になります。まとまった敷地の確保や土地取得費用の負担などを考えると、市内の中心部よりも比較的郊外へ建設したいと考える事業者が多いのかもしれないかもしれません。しかしながら、地域の方が住みなれた地元へ施設がほしいというお気持ちは、十分に理解しています。現在は素鷲地区を含めて市内11地区に特別養護老人ホームがありませんので、今後、第8期の計画を策定し、施設を整備する民間事業者を公募する際、特別養護老人ホームの建設を検討している事業者がありましたら、事業者への説明会等を利用して、特別養護老人ホームがない地区への整備を優先するというのを伝え、この素鷲地区を含めた、特別養護老人ホームがない地区への建設を促していきたいと考えています。

【市長】 これまで2回のタウンミーティングで言っていたことはもちろん覚えています。私も人間なので、よい返事ができたらいいのですけれども、現状はそういった状況です。ただ、石橋課長も申しましたとおり、今後の整備計画では特別養護老人ホームがない地区に建設できるよう促していきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくをお願いします。

【男性】 可燃ごみのことですが、アパートなどが新しくできて、4、5軒が近くのごみ置き場にゴミを持っていくと、横の家の人がもうこれ以上置いてもらったら困ると。それで、新しく来た人は別のところに置いてくれということなんですけれど、そのアパートの出口に4軒分置いたら集めてくれるのかと思うとそうはいかんと。かなり

多くの世帯が集まらなると収集車で持って行ってくれないということで、もめているところがあるんです。4、5軒の家だったら、集めてもらったと思うのですがどうですか。

【市民部副部長】 市民部副部長の前神です。可燃ごみの置き場に指定するには、一定の世帯の方たちが出す場所ということで申し込みをしていただくようになっています。町内会や管理をされる方から清掃課に、これだけの世帯が使うということで相談をいただくんですけども、やはり4、5世帯という単位では、少ないかなと思います。

【男性】 何軒くらいなら集めてくれるのですか。

【市長】 可燃ごみは20世帯について1カ所、集合住宅は15世帯に1カ所になっています。これには理由があります。松山市内のごみの集積場所は市内全体に2万カ所あります。思い浮かべていただいたらと思うんですけども、朝、ごみを収集するときに、ごみ収集車が止まって回収して、車が通れないということになったら、大渋滞を起こしてしまいます。ですので、ごみステーションは車の離合ができる場所が望ましいですし、ある程度まとまって出していただきたいというルールになっています。また、ごみの収集も効果的なルートでしないと収集に時間が掛かってしまいますので、できるだけ無駄のないようにルートを組んで、回収をしているというのが実情です。もう少し戸数を緩和したらいいんじゃないかというご意見でよろしいでしょうか。

【男性】 4、5軒ぐらいから、やってもらえないかなと思うんです。いろいろ渋滞があるかもしれないけれど、4、5軒で集めてもらいたいなど。今まで置いているところは、増えるとまた汚れて、掃除するのが困るという意見があって、新しくできたところの人はどこ行ったらいいのか困っているわけです。

【市長】 分かりました。こういう例もありますということで補足させていただきたいと思います。地区の社会福祉協議会では、昭和61年度から、地域の住民の方がお互いさまの心で、地域ぐるみで支え合う活動を進めていて、松山市はそこに補助をすることで、その活動を支援しています。高齢の方の話し相手や買い物支援のほか、地区によっては、ごみ出し支援の活動をしているところもあります。素鷲地区では、ごみ出し支援が行われていますので、よろしければ松山市社会福祉協議会にご相談いただければと思っています。

【男性】 実際に渋滞になるかも分からないけれど、渋滞にならないところもあるわけです。私のところは渋滞になるようなところじゃないんです。だから、渋滞を理由に言っても困ります。渋滞のあるところはそうしてもらい、渋滞にならないところは4、5軒でも集めてもらったと思うんです。

【市民部副部長】 今日、お聞きして帰ります。一度、清掃課と相談していただいたらと思いますので、清掃課にお話を伝えておきます。

【市長】 今日、あとで場所を聞かせていただいて、担当から連絡をさせていただいたらと思います。

【男性】 私のところじゃないんです。新しくできたところでもめているところがあるので、それでちょっと言うたらどうかと思いました。

【男性】 タウンミーティングのたびにお話はしているんですが、公民館は素鷲地区のコミュニティの中心になっていて、現状は、町内会長さんや社協の皆さん、いろいろな方が利用しているんですが、年齢層が高くなりました。そして、体も不自由になる人も多くなりました。そういう中で、公民館を利用するのに、1階には集まる場所がありません。これは昭和57年に公民館ができてからです。2階と3階が素鷲公民館なんです。そこで、1階の松山市中村福祉センターは9時から夕方5時までの利用で、夜は利用していませんので、夜に利用ができないか、高齢福祉課と相談して、災害時は避難所に利用できるようにしていただきました。一番いいのは、バリアフリーとエレベーターを付けることです。これはもう待たないんです。地域の人も高齢で2階・3階に上がれず、講師の方も高齢になってだんだんと講座がなくなっていく。現在、70歳から80歳の現役で、まだまだ頑張らないといけない人の環境をもうちょっと整備してほしいです。そういうことで、バリアフリーを考えていただいて、玄関はユニバーサルデザイン、自動ドアをお願いします。先般は、車椅子の方が2階で開催される人権啓発の話が聞けないので、2階まで背負って上がり車椅子を上げました。エレベーターができれば、階段昇降機を付けていただくか、それが難しければ1階の中村老人福祉センターの利用を考えてほしいと思います。

【生涯学習政策課長】 教育委員会生涯学習政策課の西村です。高齢者の皆さんが2階・3階をよく使うという話もお聞きし、エレベーターの設置の要望があるということも伺っています。松山市は、先般、公民館の長寿命化計画を策定しました。市内に公民館は41カ所あって、耐震が整っていない危険な公民館もありました。その公民館も改修するめどが立ちましたので、これ以降は、長寿命化ということで、いわゆる大規模改修工事、内部のリフォーム、バリアフリー化、トイレの改修などを計画的に進めていくことにしています。素鷲公民館は、昭和57年の建築で約38年経過しているので、公民館の中でもかなり古い公民館になっていますけれども、耐震性は満たしている状況です。今後、素鷲公民館についても、前向きに検討していきたいと考えています。それと1階中村老人福祉センターの5時以降の利用については、ちょうど高齢福祉課と地域学習振興課が協議していると聞いていますので、できるだけ1階も5時以降に使えるようなことができないか検討したいと思います。

【市長】 私が市長に就任させていただいたとき、小学校・中学校の校舎の耐震化ができていないところがありました。平成22年12月の就任の4カ月後に、東日本大震災が起きました。子宝と言われる存在の子どもたちが長時間過ごす小学校・中学校の耐震化ができてないようなことではいけないので、耐震化を思い切って前倒して進めました。幼稚園・保育園で耐震化ができてないところもありましたので、これも思い切って

前倒しで進めました。また、消防団のポンプ蔵置所とって、消防団の活動の拠点になるところでまだ耐震化できてないところもありました。いざ出動しようと思っても、崩れて出動できなかったということではいけませんので、消防ポンプ蔵置所の耐震化も急いでしました。そして公民館は41地区のそれぞれに本館があるんですけども、まだ番町公民館の耐震化ができていなかったんです。いろんな経緯があったんですけども、番町公民館も新しくすることができるようになりましたので、次の段階に入っていけるかなと思っています。先ほど西村課長が申したとおり、考えていきたいと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。

#### 広報タイム「AEDの使用方法」

【男性】 後日、回答いただけたらということで質問させていただきます。湯渡橋の南に通称弁天さんという神社があります。その神社を老人会で2カ月に1回ほど清掃をしています。普段は5人ぐらいでやっているんですけど、夏場はどうしても草が生えて、大きなごみ袋に六つも七つも集めるようになるので、10人ぐらいのメンバーでしています。この神社の清掃について、今まで老人会以外で清掃や草引きをするような方は見えていません。弁天さんというところは、ブランコや鉄棒やすべり台もあります。おそらく、松山市の公園になっているんじゃないかと思っています。老人会の長老の方にいろいろ聞くんですけど、なかなか正確な回答をもらえません。清掃をしていて、松山市の公園だったら公園管理者に管理料が松山市から出ているんじゃないかという意見がよく会員の方から出てきます。現実には、老人会員が50名以上ということで、松山市から年間で6万円の助成金をもらっていますので、その助成金の中から、清掃に来ていただいた方のお茶代などを支払っています。管理料をもらいたいというようなことではないんですけど、事実が分かれば、会員から質問があったときに正確な答えができるんじゃないかと思うので、後日でかまいませんので、回答いただけたらと思います。

【市長】 弁天さんって言われている神社ですね。早速調べて、回答させていただいたらと思います。

【男性】 道路の拡張についてですが、前回、道路幅が狭いということを知っていただいたと思うんです。消防車が入っても、38メートル級のはしご車が入る場所がありません。私たちは一生懸命、中心から2メートル退いて、4メートル道路にしようとしても、角地の家が退かないわけです。それはどうしてもなのか問うと、松山市の規則がそうなると。前面に4メートル、現状では5メートルの道路があるから、この横の道は退かんでいいという建築の規則があるらしいです。それを何とか変えてもらえないことには、奥の方は4メートル広がっているのが何の役にも立ちません。救急車や消防車も入れません。規則を変える方法はないんですか。建築指導課が率先してやってもらった

ら、道路が広がると思うんです。後ろは4メートルセットバックして、4メートルになったんですよ。その角まで来たら、その家は自分の前は5メートルの広い道があるからこの横は、下がらなくてもいいと言います。議員にも言ったけれど、こういう規則があるからできないということでした。二番町や三番町みたいに道が広いのならいいけれど、素鷲地区は道路の狭いところばかりで、救急車が入ってもバックしないといけなところもあります。できたらそういう規則を、前面だけでなく横もセットバックしないといけなよう、建築確認を出す段階でもらったら、問題が解決するんじゃないかと思えます。市にそんな条例があるというのは、私らにはちょっと理解ができません。ごみ収集車が入ってきて、ここでバックしたらいいじゃないかと言っても、ここは私道だからバックして、もし事故があったら責任を取れないと言って、ごみ収集の場所さえなかなか決めることができません。

【都市・交通計画課長】 都市・交通計画課の坪内です。先ほど、規則ということでしたけれども、建築基準法という法律があって、全国一律でそのようなことになっています。基本的なルールで建築をしていますので、必要以上に道路後退してもらおうというのはお願いということになります。ただ、場所によっては、例えば交差点で道路後退するようなどころがなかったとして、角切りを変えてくれないかということで、市道と私道の交差点は協力してもらえる場合は、市も用地を少し買収させてもらったことはあります。やっぱりそれぞれの土地はその所有者さんのものですので、勝手に市が買収したりするということはなかなかできないのが現実です。もう1点、消防局から素鷲地区のことで聞いていることがあります。昨年度に、素鷲地区では狭い道路の確認や消火栓、防火水槽の水利調査などを重点的に行ったということで、狭い道路でも消火活動や救助活動ができるよう備えていると聞いています。道路のことで何かしたいということがあったら、道路建設課に相談いただいて、特に水利組合や町内会などの団体の方からご相談いただいたら、その都度、現地確認などをさせてもらいたいと思います。

【市長】 分かりやすく申しますと、国でつくるのが法律で、県や市は条例になります。法律は、国として統一してというもので、ご質問のものは建築基準法になります。道路のことで対応した事例がありますので、ご紹介させていただいたらと思います。タウンミーティングの参加申し込みの際に、皆さんにはまちづくりに関するご意見を記入していただいていたので、その中に、伊予鉄ゴルフ場の東側の道路の路面の状態が良くないので、舗装してほしいというご意見がありました。3月に申込書をいただいた後、そのまま放っておくのはおかしい話ですから、現地を確認して、路面状態が良くない危険な箇所が複数ありましたので、4月に職員が応急的に補修をさせていただきました。道路全体となると重機を用いるなど大きな工事が必要になりますので、5月に工事を発注して6月末に完了しました。皆さんご覧になったことがあるかと思いますが、松山市は黄色い道路パトロールカーを3台持っていて、毎日、道路点検のため巡回をしています。松山市道は全部で約1,800キロあります。これを3台のパトロールカーで一生懸命

回っていますけれども、道路パトロールカーですべて回りきれぬかといったら、なかなかそうもいきません。そこで、皆さんから穴があいている場所などをご連絡いただきましたら、早い対応ができますので、遠慮なく道路管理課までご連絡ください。もう一つ、先月から素鷲地区で始めた道路工事についてお知らせします。枝松交差点にマクドナルド枝松店があり、そこから小坂の交差点の間にガソリンスタンド・ソラト小坂店がありますね。この区間で歩道をバリアフリー化する工事を始めました。現在の歩道は車道より一段高くなっていて、ところどころ段差があります。車椅子の方や子育て世代の方がベビーカーを押して通行しやすいように、今後、植栽を取り除いて歩道を広げ、車道を上げて歩道と車道の段差をなくします。先月から工事に着手しました。今年度は、マクドナルドからくら寿司の交差点までの区間を整備します。そして、小坂交差点までの全体の整備は、令和4年度中に完成する予定ですので、もうしばらくお待ちいただきたいと思います。素鷲地区でもこのように工事を進めていますので、ご理解いただければと思います。

【男性】 道路の路面のことですけれど、路面が5ミリくらいの高さで、全体がでこぼこになっているんです。掃除をしようとしてもごみが挟まってしまいます。コールタールだけでも流して、でこぼこを直してもらったらと思います。

【都市・交通計画課長】 また後で、場所を教えてください。基本的に松山市道の場合は、でこぼこしているところがあったら、現地を見に行つて補修しています。

【男性】 拓南に松山市農協拓南事業所があります。この交差点付近の道路の白線がちょっと薄なってきたので、引いてもらったと思います。ちょうど私のところの前まで新しく白く塗ったんです。次に、南の方へ来るんだなと思っているんですけども、そういう計画があるのでしょうか。もう一つは、私の家の前の電柱に街路灯を付けてもらったと思います。町内会長には言っているので、すでに市で受け付けをしているかもしれませぬ。私の家は、年中、夜に蛍光灯をつけているので、蛍光灯で道路が明るいんですが、30年も電気を払ったら私がつぶれます。電柱が3本あり1個ずつ付いているんですけども、私の家の前の電柱には蛍光灯がないんです。電柱があつて、付いてもいいかなという箇所に入れてもらったと思うんです。

【市長】 両箇所とも、あとで詳しく場所を教えてくださいと思います。先ほど白線の話がありましたので、私から通学路の緊急点検についてお話をさせていただきます。8年ほど前のことになりますが、平成24年4月に京都の亀岡市で、通学中の子どもたちの列に、一晩中、車を運転していた若者の車が突っ込んで10人が死傷するという事故がありました。松山市ではこういった痛ましい事故がないように、市に加え、国・県、警察、学校の先生、保護者の方々にも参加していただいて通学の緊急点検をさせていただきました。それが平成24年の夏のことです。5年経つと、また状況も変わりますの

で、平成29年にも通学の緊急点検を再度しました。松山市には小学校が53校あるんですが、松山市のホームページを見ていただいたら、通学路の緊急点検について53校ごとに出しています。線を引きましたとか、対策した箇所を全部出していますので、見て安心していただけたらと思います。また、ハードとソフトといういい方がありますけれども、極端な話、例えば、全部安全にしようと思ったら、通学路の全部にガードレールをしたらいいんです。でも、全部ガードレールしたら、その沿線の方々は車の出し入れができなくなりますよね。ですから、どうしてもできないところはあります。その場合は、見守りの方や保護者の方にやっていただくなどして、ソフトの対策をしています。事件・事故の対応ができる警察の方の中には、60歳で退職されても元気な方がいっぱいいらっしゃると思いますよね。松山市では、警察のOBの方に来ていただいて、各校区で事件や事故の対応をしていただける、見守りをしてくださるようなスクールガードリーダーを養成していこうという事業を始めました。皆さんのお力をいただきながら、さまざまやっています。

#### 広報タイム「家具転倒防止対策の必要性」

【女性】 素鷲小学校の人数がだんだん少なくなってきていて、福音小学校に今年私が知っている限りでも3名の子どもさんが、転校されました。枝松5・6丁目と小坂4・5丁目に住む子どもたちは、福音小学校の方に行っています。それを素鷲小学校の方に、返してしてもらったらと思います。そして何名か増えますと、1クラス増えますよね。子どもの人数が減ると教員の数も減りますし、3年生は2クラスしかありません。そこを考えていただけたらなと思います。

【生涯学習政策課長】 素鷲小学校の学級数は、1年生が3クラス、2年生が3クラス、3年生が2クラス、4・5年生が3クラス、6年生が2クラスになっています。全体の児童数が500人弱なので、昔と比べたら、かなり少なくなってきているというのが実感ではあります。ただ、他の学校と比べると、規模としては中規模ぐらいの学校です。通学区域の変更というのは、かなり慎重に検討をしなければならない問題になりますので、一度持ち帰って、検討していく必要があるかと思います。逆に福音小学校の方は減ってしまうことになりますので。

【男性】 福音は家がどんどん建っているので増える一方です。

【生涯学習政策課長】 確かに福音小学校の方は増えていると思います。ご意見としてお伺いしましたので、検討させていただきます。ただ仕組みとしては、かなり慎重に検討するものではあるということをご理解いただけたらと思います。

【男性】 すぐに戻せというんじゃないですけども、考えてもらいたいです。素鷲公民館で行事しても、小坂4・5丁目、枝松5・6丁目の方にはなかなか公民館の行事に参加してもらえないです。町内も子ども会がなく分断しているし、やっぱり、元のと

おりに戻してもらわないと一枚岩にならないです。市長が言うように、子どもは宝だからその宝が全部向こうに取られています。私らは絶対にいかんと市役所に反対に行ったけれど、素鷺はどんどん増えますと言って。年寄りが増えているだけで、子どもは減っています。すぐ戻せということではなく、2・3年熟慮してもらったと思います。

【生涯学習政策課長】 大きな宿題を頂きました。ありがとうございます。

【男性】 立花のフジには横断歩道はあるんですが、踏み切りを越えて、愛媛銀行まで横断歩道がないんです。愛媛銀行からジャスコまで横断歩道がないんです。確か50メートル以内にはつくれないということは分かっているんですが、立花の駅は陸橋で年寄りが渡れません。子どもへの学校の指導も陸橋を渡れとしていますが、横断歩道がフジから愛媛銀行までないということは、年寄りに横断歩道を渡らずに、横切れということになるかと思うんです。信号もフジからイオンまでないんです。それで、弱者を交通事故から守れるんだらうかという提案です。

【都市・交通計画課長】 横断歩道の設置は、警察が担当になりますので、警察に問い合わせ、改めてご回答させていただいたと思います。

【市長】 今日は、時代の変化とともに必要性も変わってくるんだなというのを改めて感じました。だからこそ、こうやって皆さんのところに出掛けて、声を聞くことが改めて大事だなと感じた次第です。よくタウンミーティングで防災行政無線の話が挙がります。防災行政無線が聞こえにくいという方と、スピーカーがそばにあってやかましいという方と二つのご意見があるんです。家がペアガラスのご家庭が増えてきて、冷暖房をつけているとなかなか聞こえにくいとか、車がよく通るから聞こえにくいこともあります。そこで、全てのご家庭にお配りしている松山市の広報紙の一番下に、「災害時などの防災行政無線放送は、電話で確認できます」と電話番号を入れてありますので、防災行政無線の内容が聞き取れない場合は、こちらに電話をかけていただきたいと思います。また、電話をかけなくても、テレビ局と連携して、防災行政無線の内容がテレビのデータ放送で流れるようにしていますので、そちらでも確認いただきたいと思います。また、皆さんのご家庭には10月15日号の広報紙が配られていると思いますが、新型コロナウイルス感染症に関連した松山市の支援策を改めて10月15日号に掲載していますので、お帰りになって見ていただきたいと思います。新型コロナウイルス感染症対策に、これまで総額623億円の対策予算を組んで、市民生活を守る、地域経済を守る取り組みをさせていただいています。西日本豪雨で松山もかなり被害を受け、その復旧復興予算もかなりかさんでいます。でも、やはり皆さんの声を聞きながら、しっかりと対策を打っていくことが大事だと思いますので、これからも皆さんの前に出て、話を聞くことを大事にしていきたいと思っています。今日は長時間、ありがとうございました。

—了—